



# 尾久西だより

荒川区立尾久西小学校

発行日 令和7年11月28日

発行者 校長 大野 良子

No.412

令和7年度

12月号

～尾久西小に響いたみんなのハーモニー～

副校長 柳澤 章人

私が住んでいる地域に、大きな県立の特別支援学校があります。自治会のお手伝いをしていた折に、学校便りを拝見する機会がありました。その中で校長先生は、次のようなことを書かれていました。

## よりよい未来を切り開くために

『自立には「社会的自立と職業的自立」そして「生活自立」があります。「社会的自立と職業的自立」は卒業後の生活の中で就職して給料をもらい、お金を管理して自立した生活ができること。そして、法律を守り、規範意識をもって、自律した生活ができるようになることです。「生活自立」は、自分の身の回りのこと、例えば、自力で起床したり、食事や洗濯をしたり、身だしなみを整えたりできるようになることです。』

このお便りにあるように、「じりつ」には自立と自律があります。どちらも大切です。自分の力で立って自分の未来を創る自立。自分を律し粘り強く取り組む自律。子供の言葉に置き換えると「自分のことは、なんでも自分でできるようになります。(自立)」  
「ルールを守り、みんなと折り合いつけて、粘り強く取り組むことが大切です。(自律)」  
ということになります。

さて、11月21日22日に  
「～COSMOS～一人一人  
のかがやきで みんなのハー  
モニーをつくりあげよう」を



テーマに音楽会がありました。休み時間に教室などで自主的に練習する子、先生から教えてもらった合奏のポイントを友達同士アイコンタクトで実践する子など、練習から子供たちは「真剣・本気・全力」で練習に取り組み、感動的な音楽会になりました。低学年の児童もあこがれる金管バンドの演奏も大変すばらしく、この活動を通して、子供たちは音楽に触れるよさや楽しさを存分に味わいました。子供たちが、自主的に(自立)、みんなで協力し、粘り強く取り組んだ(自律)成果です。また、保護者の皆様には、衣装の準備や体調管理、当日の参観と子供たちの活動を支えていただきありがとうございました。そのことも、子供たち大きな成長につながっています。

教育活動の究極の目的は、社会に参画し自立した生活を送る人を育てることにあります。未来へ向かって一人一人が、自分のキャリアを創っていけるよう、自立と自律を大切にこれからも粘り強く教育活動を充実させて参ります。

